

Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2022-2023



カタクリ

Vol.10
2023.4.1

ガバナー月信



CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
アンケート 女性会員に聞きました	2
国際ロータリー第2500地区女性セミナー	7
次年度地区チーム研修セミナー、PETS	8
日常を戦場に変えてはならない	9
2022-23 社会奉仕委員会	10
青少年交換プログラムについて	11
「第36回ふれあい広場2022なよろ」での ポリオ根絶啓蒙活動	13
ハイライトよねやま	14
世界米山学友による再会in関東	16
ロータリー財団 地区補助金 報告	17
コーディネーターニュース	18
新入会員の紹介	23
ロータリー財団寄付者報告	23
物故会員	24
例会出席率及び会員数推移	25



ガバナーメッセージ

2022-23年度

国際ロータリー第2500地区ガバナー 久木 佐知子
(旭川西RC)

春の陽光が心地よい季節となりました。4月は新しい出会いの多い季節です。

さて、皆様のクラブは今年度の目標達成は順調でしょうか。新しい仲間が増えてクラブは活性化しているでしょうか。今年度も残すところ2か月あまりとなりました。6月に1年を振り返って、会員の皆様とともに「良い1年だった」と思っていたいただければ何よりです。

さて、今月は母子と健康月間です。毎年、5歳未満で命を落とす子どもは、世界で推定590万人もいます。その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。ロータリーは予防が可能な原因で母と子が命を落とすことなどあってはならないと考えます。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして出産で命を落とすことがなくなり、子供がすくすくと成長できるように私たちは支援活動を続けています。例えば教育、予防接種、出産キット、移動クリニックなどの方法を使って母子の健康を推進しています。また女性を対象に、HIVの母子感染の予防、母乳による授乳、病気の予防に関する教育も行っています。戦禍や貧困に苦しむ国や地域にも、母と子が末永く健康に生活が送れるよう質の高い医療を提供することが私たちのビジョンです。加えてロータリーは世界中のすべての女性が、自分も変化をもたらす力があると信じることでできる世界を想像しています。より多くの少女、女性が平等に声をあげ、男女同等な機会を与えられれば、世界のより多くの問題を解決できると信じています。

今年度、地区ではRIの年度テーマとDEI（多様性、公平さ、包摂）の理念のもと、多様性のあるクラブづくりを推進しています。多様性のある会員基盤づくりのひとつが女性会員の増強と維持です。1989年規定審議会でロータリークラブへ女性会員の入会が認められてから34年になりますが、現在、全世界の女性会員の比率は25%、日本ではまだ7%、2500地区では5%です。RIでは今年度中に30%にする目標をたてています。地区でも現在の5%を10%にする目標を掲げています。これには100人の女性会員の入会が必要です。

その第1歩として3月11日（土）に女性会員を対象に研修会「輝く女性たちへ、Lady Go!」を開催いたしました。服部陽子ロータリー公共イメージコーディネーター、2022-23年度研修リーダー、2750地区PDG（広尾ロータリークラブ所属）を講師にお迎えし、「世界の潮流とこれからのロータリー」と題して基調講演をいただきました。地区内の女性会員が一堂に集い、ロータリーについて学び、ネットワークを広げる機会となりました。また初の試みとして商工会議所女性会や国際ソロプチミストなどの女性リーダーの皆さんや旭川市女性活躍推進担当者など約70名の参加をいただきました。

服部氏は世界の潮流としてロータリーを例に、初の女性RI会長が誕生し、副会長やノミニーにも女性が就任していること、理事会や執行部で多数の女性会員が要職に就いていることなどを紹介し、ロータリーに女性が入会できるようになった経緯とRIの最新情報をお話くださいました。さらにDEIの理念とクラブ活性化についてもスライドを使って丁寧に分かりやすく説明。DEIを取り入れることは自分自身がよりよく生きることにつながると強調されました。参加者からは「ロータリーを学ぶ良い機会であり実りある講演だった」、他の団体からは「自分たちの活動に通じる内容だった」と高評価をいただきました。

今回の研修会をステップにして、女性活躍を推進するロータリーと地域で活躍する女性リーダーがともにつながり、さらに地域で活動するリーダーや他の奉仕団体とパートナーシップを築くことで、地域社会によりインパクトのある活動や奉仕をもたらすことができると期待しています。これからも女性が組織の中で活躍できる環境づくりを進めて参りたいと思います。

アンケート 女性会員に聞きました

地区ではRIの年度テーマとDEIの理念のもと、多様性のあるクラブづくりを推進しています。多様性のある会員基盤づくりのひとつが女性会員の増強と維持です。1989年にロータリークラブへ女性会員の入会が認められてから34年。全世界では女性会員の比率が25%を超えますが、日本ではまだ7%、2500地区では5%です。RIでは今年度中に30%にする目標をたてています。地区でも現在の5%を10%にする目標を掲げています。その実現には100人の女性会員の入会が必要です。女性ロータリアンから見たロータリーはどのように映っているのでしょうか。地区内の女性ロータリアン、ローターアクトに向けてアンケートを実施し、80名から回答を得ました。

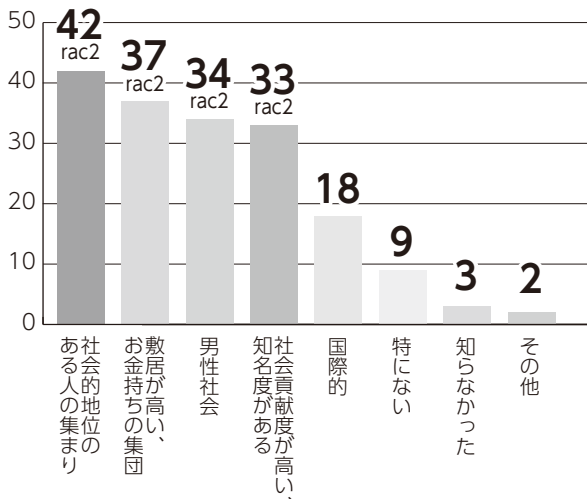
アンケート対象：2500地区ロータリークラブ、ローターアクトクラブ女性会員

実施期間：2022年12月26日～2023年1月30日

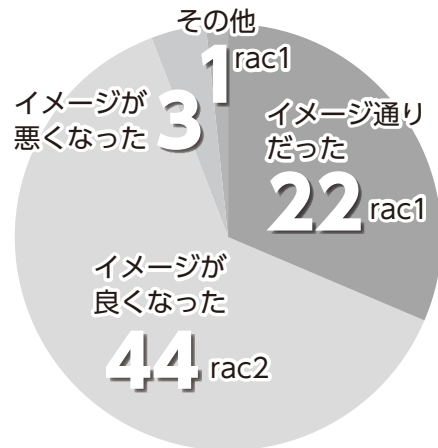
実施方法 メール、FAX

回答者数 80人（2023年1月末 女性会員数133人）〔RC118人・RAC15人〕

入会前のロータリーの イメージ(印象) 複数回答可

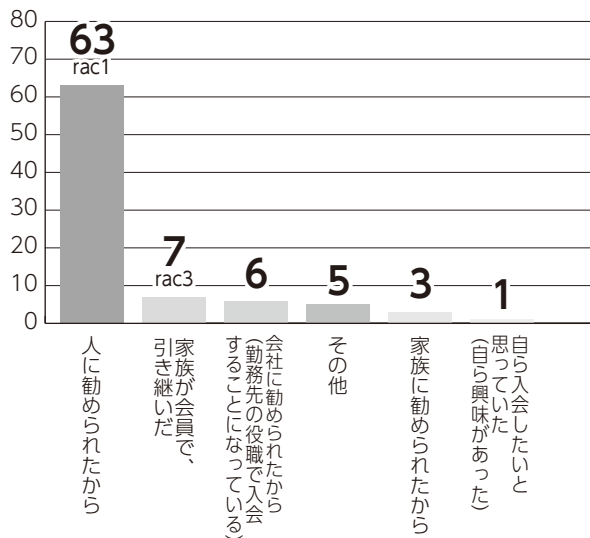


そのイメージは入会后、 変わりましたか



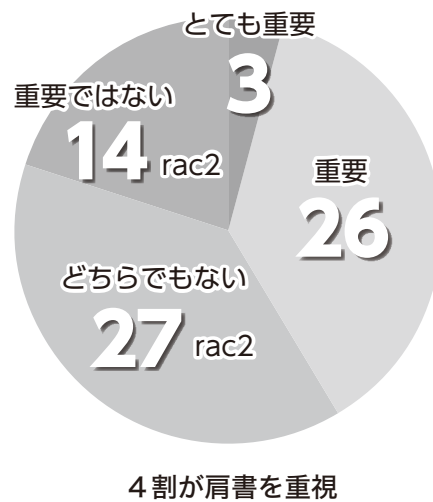
約6割以上が「イメージが良くなった」

ロータリーに入会したきっかけ

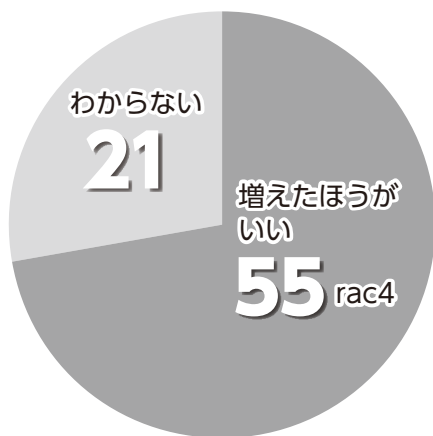


7割以上が人に勧められたから / 家族から引き継いだ 1割

入会時に職業上の肩書は必要だと思いますか



女性会員が増えたほうがもっと活動しやすくなると思いますか



女性会員「増えたほうがいい」が7割以上

増えたほうが良いという意見では、

「全クラブに女性が入会して、女性の意見を積極的に取り入れ、クラブの発展に寄与したい」「入会3年足らずでなかなかなじめていません。男性会員が多いこともありますが、女性会員の方たちと協力してやっていけたらと思っています」

他には、「自分にとって変わらないので、どちらでも良い」という意見や「女性が増える事により女性限定の役割や事業が発生すると活動しにくくなる」といったコメントもありました。

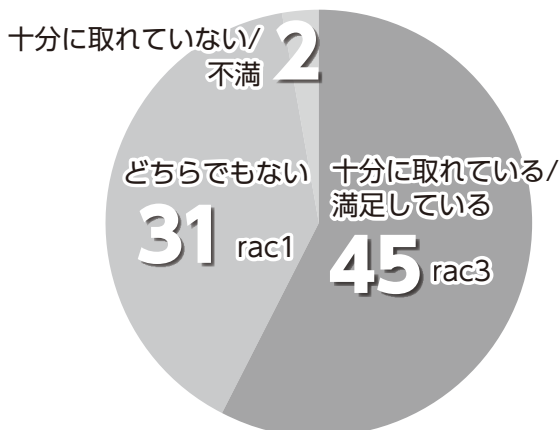
加えて、女性会員が在籍しているクラブからは、経営者として活躍している女性はキャリアや経営感覚も男性と同じでリーダーとしても頼りになる。

女性会員がいると例会が明るくなる。発言も気を付けるようになった。

新しいアイデアを持っていて、女性の視点で新しい事業や活動ができるようになった。

との意見がありました。

会員同士のコミュニケーションは十分に取れていますか



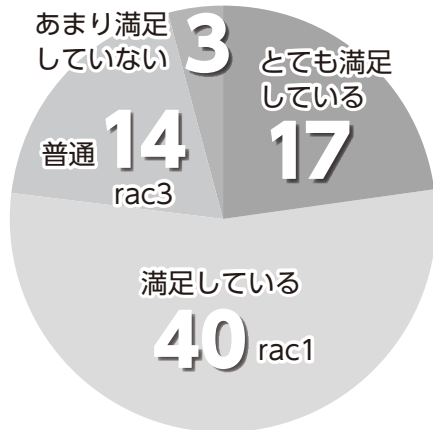
約6割が

「コミュニケーションは十分に取れている/満足している」

会員同士のコミュニケーションについては、

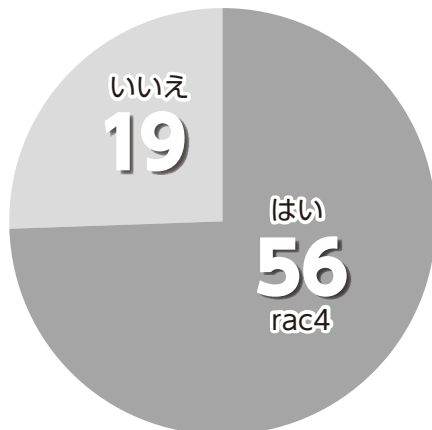
「私が女性であってもロータリークラブに所属していただけるのは、地域で活躍する諸先輩のお手本となる姿を子供の頃から見てきているからだと思います。尊敬する皆さんと共に活動できることは嬉しく思っています。今は後輩も増え、楽しみが増えています」など前向きなご意見をいただきました。

所属するロータリークラブに満足していますか



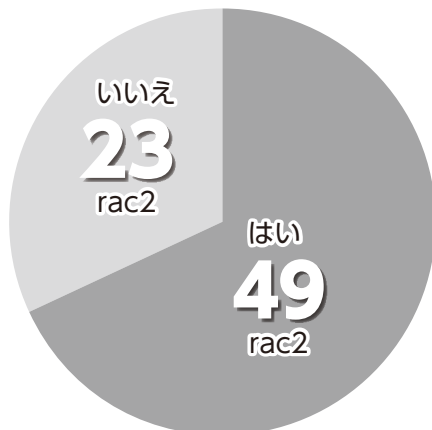
約7割が満足している

現在のクラブに入会したとき、すでに女性会員はいましたか？



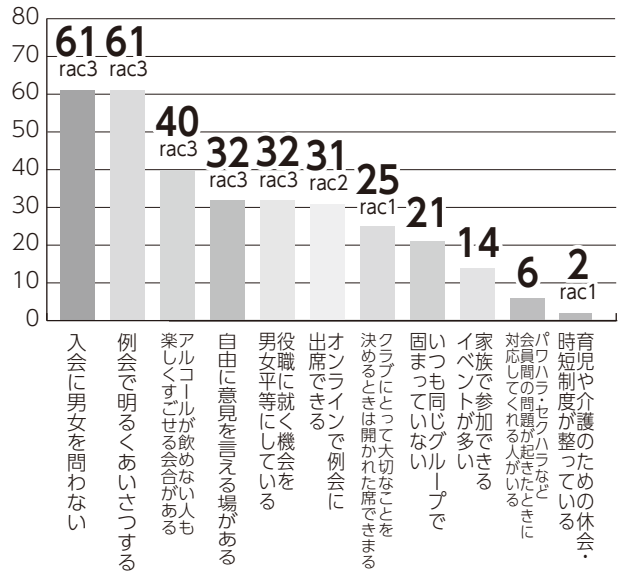
入会時、クラブに女性会員がいた7割以上

女性にとって、ロータリークラブの入会はハードルが高いと思うことがありますか？



ロータリークラブ入会はハードルが高い 7割

あなたのクラブは風通りよいですか？(複数可)



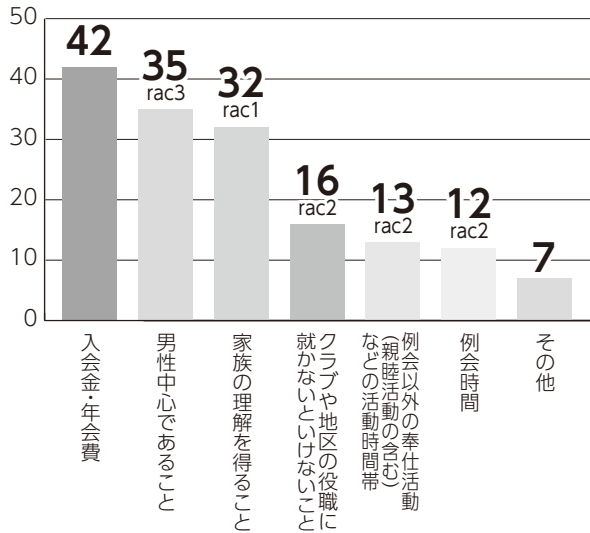
クラブ環境に関して、入会に男女を問わない、例会で明るく挨拶をするが上位を占めました。またアルコールが飲めない人も楽しく過ごせる会合があることや、自由に意見をいうことができる環境、オンラインで例会に出席できることの利点や役員に就く機会を男女平等にしているというところが挙げられました。

Check seat

あなたのクラブは風通しが良いかどうか、以下の項目をチェックしてみてください。クラブ環境が整うことで会員の皆さんの満足度を高め、会員増強・維持へとつながります。

- オンラインで例会に参加ができる
- 育児や介護のための休会・時短制度が整っている
- 家族で参加できるイベントが多い
- パワハラ・セクハラなど会員間の問題が起きたときに対応してくれる人がいる
- 自由に意見を言える場がある
- いつも同じグループで固まっていない
- 役員に就く機会を男女平等にしている
- 入会に男女を問わない
- 幅広い年齢層の会員がいる
- アルコールが飲めない人も楽しく過ごせる会合がある
- 例会で明るく挨拶をする
- クラブにとって大切なことを決めるときは開かれた席できます。

女性の入会のハードルを高くしている要素は何だと思いますか？(複数回答)



入会金や年会費と男性中心であることが最多

ハードルを高くしている理由は入会金や年会費、また男性中心であることがあげられています。

その他の回答に

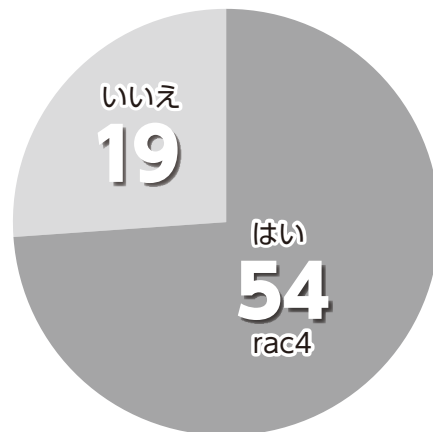
- ・地域に女性を中心とした奉仕団体が多数あり、多くの女性が他の活動に積極的に参加しているため。
- ・一般に広まっているイメージ(男性中心、肩書重視、お金がかかるなどの)の悪さ
- ・ハードルが高いとは思いますが、興味があるかないかだと思います。
- ・会社経営者や役員が会員の多くを占める中、日本の女性の役員数が少ないこと

女性会員だけの交流会や会合は必要だと思いますか？



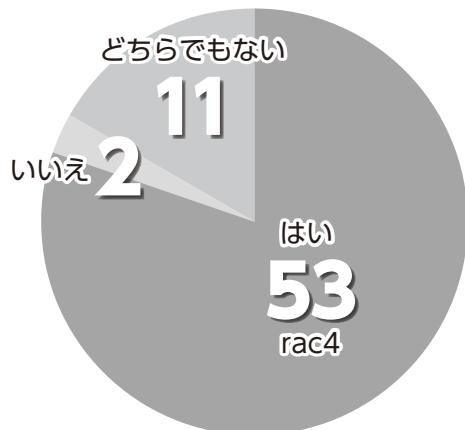
女子会は必要 3割

女性のガバナーや会長などが増えれば女性会員は増えると思いますか？



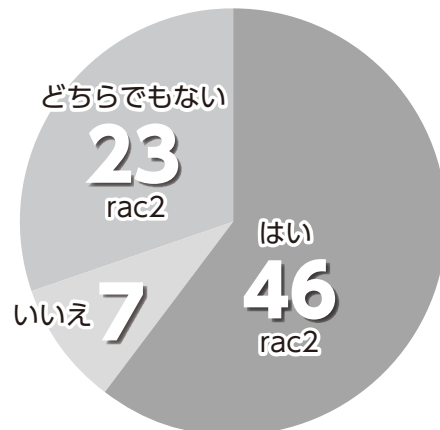
女性リーダーが増えれば女性会員は増える7割以上

クラブに女性会員がいたほうが入会しやすいですか？



女性会員がいた方が入会しやすい8割

ご自身のクラブをご友人やお知り合いの女性に勧められますか？



自分のクラブに自信がある人 6割

今回のアンケートでは女性会員の皆様から多くのご意見をいただきました。その中からご紹介いたします。

- ・女性の地位向上は、どの職場においても課題があると感じています。ロータリー活動の中での女性の位置はまだまだ、はじっこです。今回の女性ガバナーの登場で少しでも平等の立ち位置へ変革のきっかけとなる事を期待しております。
- ・「女性会員が増えない理由」ということで、これからの皆さんとの交流や奉仕活動を通して気持ちに変化する可能性が高いと期待していますが、現状は寄付ばかりで、これがロータリーのあるべき姿なのか？と疑問に思うことが多いです。真のリーダーは自ら行動で示すものではないか？と思っています。
- ・ホモソーシャル的な会の在り方や、会の脱会の在り方については疑問を感じています。
- ・アンケート調査を女性会員に行うことには抵抗があります。女性会員にアンケートを実施しても何も変わらないと思います。各クラブの事情により、女性会員のいないクラブもあります。5年以上前に地区協議会の分科会で、あるクラブ会員が「うちのクラブにも女性会員を入会させなければならぬと思うのですが、女性会員が入会した場合の弊害を教えてください。女性会員が入会するなら辞めるという会員もいます。」と質問された会員がいました。それが現実だと思います。会員拡大は大切ですが、女性を意識するより、一緒に奉仕活動会をしたいと仲間を誘ったら女性だったというほうが、自然であると思います。

他にもご意見をいただきました。皆様のご協力に感謝いたします。

さて、「ロータリーの友」での女性会員アンケートでは、以下のような意見がありました。

- ・女性だから」と意識されるより、男性と同等に扱ってもらった方が居心地が良い。
- ・ロータリーで嫌味のない、いい意味でのレディファーストが自然に振舞える方にお会いし、これこそ紳士、と感激しました。自然体で女性を受け入れる環境を整えればおのずと女性会員も増えてくるものと思います。

また「とんちんかん」な気づかいを受けたが14%、ハラスメントを受けたことのある人も15%いました。

地区では2018年頃より女性会員が増えていません。今年度は20名の女性会員のご入会をいただきました。現在の女性会員数は118(RAC15)人です。

女性会員が在籍しているクラブ会長からは例えが明るくなった。また女性の視点やアイデアで新しい事業や活動ができるようになったとのご意見がありました。今回の女性アンケートをもとに、風通しの良いクラブ環境を整えて、クラブ活性化に導いていただければ幸いです。

世界の女性会員比率（ロータリーの友

2022年8月号12ページより抜粋)

世界 会員数 1,209,235人

クラブ数 37130 女性25% 男性74%

ローターアクトクラブ 会員数 230932

クラブ数 11,302 女性51% 男性42%

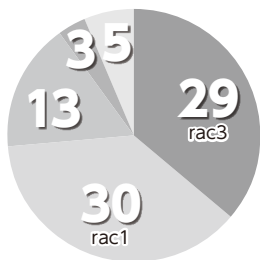
日本の女性会員比率219の国と地域で217位

日本 84,684人

クラブ数 2,225 女性7.3% 男性91%

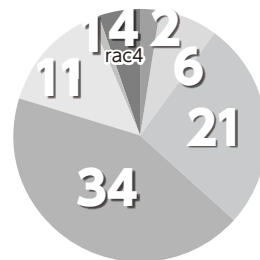
このアンケートにご協力いただいた会員データ

入会年数



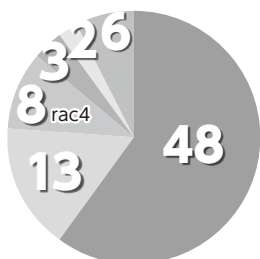
- 3年未満
- 3年以上～10年未満
- 10年以上～15年未満
- 15年以上～20年未満
- 20年以上

年齢層



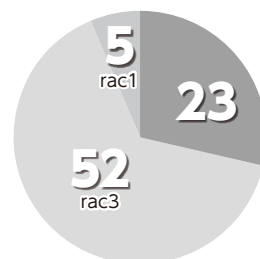
- 80代以上
- 70代
- 60代
- 50代
- 40代
- 30代
- 20代以下

職業



- 経営者
- 役員・管理者
- 正社員
- 有期雇用社員
- 専業主婦
- その他

パートナーの有無



- あり
- なし
- 未回答

国際ロータリー第2500地区セミナー

「輝く女性たちへ Lady Go!」を終えて

地区女性セミナー実行委員長 **黒川 志保**
(旭川西RC)

3月8日国際女性デーの3日後、2023年3月11日(土)に旭川の地にて国際ロータリー第2500地区女性セミナー「輝く女性たちへ「Lady Go!」が開催されました。このセミナーは、初のRI女性会長、初の2500地区女性ガバナー特別な一年として、2500地区を牽引してきた久木佐知子ガバナーの想いで実現しました。

当日はロータリー公共イメージコーディネーターであり2022～2023年度RI研修リーダーである服部陽子パストガバナーを講師に迎え、旭川市内の総合政策部女性担当、商工会議所女性会、各国際ソロプチミスト3団体、ロータリークラブに関心のある活躍中の女性、そして2500地区内の女性ロータリアン。他に地区のパストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーの3枚の方。総勢約70名余の方々に参加していただきました。受付等を担当した旭川西RCの男性会員等以外はすべて女性ばかりの会場は圧巻でした。

特別企画「ONE STEP UP」伝わる言葉と題した話し方講座からはじまり、研修会第1部の服部陽子講師による基調講演、第2部各テーブルでの交流ディスカッションと続き、最後に懇親会と長い一日でしたがとても有意義な一日になったと思います。

会場では「参加して良かった」「わかりやすくとても勉強になった」「あらためて同じ女性の力強さを知った」「いつもとは違った意味で本音を話すことが出来た」等、参加された方たちへのアンケート回答でも「ロータリーについてきちんと知ることが出来た」「他女性団体との交流が出来、大変良かった」「あらためてロータリークラブの会員で良かった」「日頃のロータリー活動とはテーマも異なり新鮮で勉強になった」などとても嬉しいお言葉を沢山いただきました。地区での初めての取組みということで女性だけのセミナーに対しては少し不安に感じていましたが、本当に心から開催して良かったと思えるものでした。これをきっかけに女性会員がもっと増えることを期待しています。このような素晴らしい機会を与えてくれるロータリークラブに感謝です。

最後に遠い旭川の地まで来ていただき素晴らしい講演をしてくださった服部陽子パストガバナーをはじめ、久木ガバナー、地区役員の皆様、参加して下さったロータリアンの皆様、そしてホストである我が旭川西クラブの皆様にお礼を申し上げます。ロータリアンであることに誇りを持った一日でした。





2023-2024年度 次年度地区チーム研修セミナー、PETS

国際ロータリー第2500地区 地区幹事 **小林 正男**
(紋別港RC)

2023-2024年度 国際ロータリー第2500地区の地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー (PETS) は3月4日、3月5日開催されました。

5日のPETSはこの地区の天候不順、道路状況にも不安があり安全面を配慮してZOOM開催とさせていただきます。

プログラムの進行は、RI会長テーマ、国際協議会報告、地区テーマ地区目標及び地区活動方針の発表がありました。

RI会長テーマ「世界に希望を生み出そう」、鶴見ガバナーエレクトは、地区スローガンとして「今こそ変わる勇気を！ さあ、一步前へ」、地区方針には、私たちはロータリアンです。いまだどうあるべきか、何をすべきか。「行動することに意味がある」として次の7つを掲げました。

1. ポリオ根絶活動を知り、理解し、プロジェクトに参加しましょう
2. 志を高く持ち、年次基金寄付クラブ100%を達成しましょう
3. ロータリーの魅力を伝え、会員増強や新クラブ設立に積極的に取り組みましょう
4. DEIを推進し、今の会員を大切に、新たな会員を歓迎しましょう
5. 立てた計画は必ず実践し、その結果や成果を分析しましょう
6. ひとつ以上の新たなことに挑戦しましょう
7. 我々の奉仕活動を世論に広く知ってもらうよう取り組みましょう

*DEI (Diversity,Equity,Inclusion/多様性、公平さ、開放性)

以上地区ロータリアンの皆様にご理解とご協力をいただきながら活動して参りたいと存じます。





日常を戦場に変えてはならない

ロータリー平和フェロシップチーム リーダー **東海林 勉**
(遠軽RC)

戦争や紛争、今や彼の地の出来事ではありません。後方といえども例外ではありません。いつ私たちの日常を一変させるかわかりません。

「政府や国連が平和を実現してくれるのを待っていてはいけません。平和は誰かが運んでくれるものだと期待してはならないのです。

平和とは、社会の土台となる草の根レベルで築かなければなりません。」*

平和と紛争解決の研究や実地研修を通じて平和構築に貢献できる人材を育てる「ロータリー平和フェロー」を第2500地区からも推薦し、「ロータリー平和センター」へ送り出しましょう。

ロータリー平和フェローの候補者を募っています

地区とロータリークラブ／ローターアクトクラブは、平和フェロー候補者の募集と推薦において大切な役割を担っています。ロータリー財団は毎年、平和や開発の分野のリーダーが、世界各地の有名大学にあるいずれかのロータリー平和センターで学ぶためのフェロシップ（奨学金）を提供しています。

フェローは、修士号取得プログラムか専門開発能力修了証プログラムのいずれかで学びます。申請書の受付期間は今年2月初旬から5月15日までとなり、選ばれたフェローは2024年に学業を開始します。

変化をもたらすことや平和構築に関する経験のある社会人をご存知の方には、費用が全額支給されるロータリー平和フェロシップに申請できるようサポートします。平和フェローの選考における会員の役割や協力方法については、第2500地区ガバナー事務所に連絡をください。

2002年にロータリー平和センタープログラムが創設されて以来、1,600人以上のフェローがプログラムを卒業し、現在、140カ国以上で平和構築と開発の分野で活躍しています。その多くは、政府機関、非政府組織、教育・研究機関、平和維持機関や警察、UNICEF（国連児童基金）、国連、世界銀行、国際赤十字などの国際組織のリーダーとなっています。

ロータリー平和センターや平和フェローの要件等、最新情報については、第2500地区ホームページにアクセスしていただき、「ロータリー平和フェロシップ」バナーをクリックしてご覧ください。

*2015-16 K.R.ラビンドランRI会長：RI会長主催「ロータリー世界平和会議」

2022-23 社会奉仕委員会

委員長 野村 文吾(帯広)
 委員 秋穂 智久(根室) 平尾 雅子(音更) 黒滝めぐみ(旭川東北)
 有澤 秀幸(清水) 金田 剛(釧路西)

名寄ロータリークラブから招聘を受けて、2023年2月14日(火)第3,051回例会で25分の卓話をさせて頂き、出席者25名でした。きっかけは、2022年4月10日(日)に開催されたRI2500地区研修協議会の第4分科会で社会奉仕委員会の事業内容を説明させて頂き、その分科会にRI2500地区職業奉仕委員会喜多美仁委員(名寄RC)が出席されていたことがご縁となりました。

当日は、コロナ禍を経て交通業界は未曾有の危機的状況にあり、スピードを増した「人口減少」がさらに追い打ちをかけ、交通業界のみならず「街づくり」にも深い影を落とし始めた。

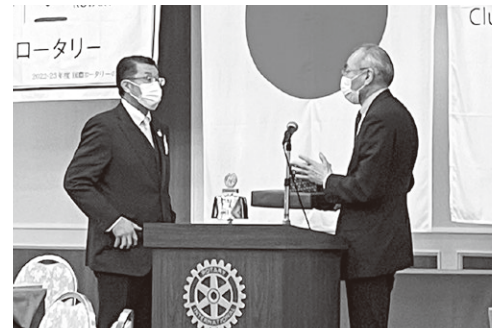
この状況から、日本政府は「都市政策×交通政策」を打ち出し、地方都市はこれらを速やかに理解して変革に挑み、サステナブルな街づくりを成し得なければならない、とお伝えしました。

卓話終了後には、大野真一郎会長からとても重要な内容であった旨の謝辞を頂き、例会後には、名寄市加藤剛士市長、ならびに、名士バス南原眞一社長を表敬訪問し、同様にご説明し理解を深めて頂きました。また、その後は意見交換会を開催して頂き、名寄RC会員でもある名寄商工会議所藤田健慈会頭もご参加頂き建設的な議論ができ、総じて実り多い時間となりました。

この度の機会と成果を活かして、残り4カ月で社会奉仕委員会はしっかりと活動してまいります。ご協力とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



卓話会場



卓話風景



大野会長からの謝辞



加藤市長への説明風景



加藤市長との
ツーショット



名士バス南原社長との
ツーショット



青少年交換プログラムについて

青少年交換委員会 委員長 駒形 貞洋
(旭川東RC)

先ずは日頃より青少年交換事業また地区新世代交換事業に、ご理解とご協力をいただき改めて感謝申し上げます。

今年度（2022-2023年度）青少年交換プログラムは、前年度中に再開困難と判断いたしまして、交換学生の候補者選定前に中止を決定いたしました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年初頭の学生の緊急帰国から、2020-2021、2021-2022両年度のプログラム中止と合わせて3年半の休止状態が続いています。今期は来期（2023-2024年度）交換再開に向けて、紋別RCと旭川東RCにて候補者の制定を行っております。紋別RCでは候補者が決定しまして最終段階であります交換地区との面接の段階に入っています。交換候補先は、米国オハイオ・エリー地区を予定しております。今年8月に渡航予定で準備をしている段階です。今年5月にコロナウイルスの感染症5類移行で青少年交換プログラムの活性化と共に候補学生の渡航実現に向けて邁進してまいります。

さて青少年交換プログラムについて改めてご説明申し上げます。名前は知っていても実際に地区に数人の交換学生ですので、お会いする機会は地区大会などでご挨拶をさせていただくくらいです。皆様が知らないのは当たり前です。交換事業を以前やっていたクラブ様も青少年奉仕の担当者であれば詳しく知っておりますが会員様となりますと難しいと思います。青少年交換についてはRIのHP (<https://www.rotary.org/ja/our-programs/youth-exchanges>) やRIYJEMのHP (<https://rijyec.org/>) に詳しく書かれておりますが、「ロータリークラブが15～19歳の青少年を支援し、海外へ留学をする機会を与えてくれる制度のこと。ただの語学留学ではなく、現地の言語や文化を肌で感じながら、「親善大使」として派遣され、世界市民としての教養を養うプログラム」と書かれております。ホストクラブは高校生をサポートして海外のクラブへ派遣します。代わりに海外より学生を受入してサポートします。その期間によって短期と長期に分かれていて、短期は数日から数週間、お休みを利用したプログラムが中心です。地区の青少年委員会が韓国と交換している事業がこれに当たります。当委員会を担当している交換は長期プログラムで、約一年（11ヶ月）のプログラムです。ホストロータリーは受入れをした交換学生のホスト費用や食事代、学費など経済的なサポートをはじめ、カウンセラーや緊急時の補助などいろいろとサポート頂きます。また地区大会をはじめクラブの行事や旅行など学生をお誘いいただき積極的な交流をしていただきます。クラブの費用としては各クラブによって異なりますが地区からの補助金では充当が難しくご負担をおかけすることが多くなりますが、学生の成長と変化に大きな感動が得られるプログラムです。是非皆様のクラブでもご検討ください。

学生にとってとても魅力的なプログラムです。費用が数百万とも言われる長期留学ですが、交換プログラ



ムでは航空券、保険、旅券・ビザの費用と、現地で開催される小旅行やツアーなどの費用だけとなり、主に生活にかかる費用負担が軽減されます。また親善大使として地域のロータリークラブや地域の皆様との交流を通し、様々な人々との交流が得られます。それに伴い学生に求められる資質も大きなものとなります。日本の文化について多くの知識が必要になります。「能」や「歌舞伎」などの古典芸能についての質問や日本の和食などを披露する機会も出てくる場合があります。日本人として知らないでは済まされないことが多くあります。これを機に今一度日本についての勉強も必要になります。

このプログラムを利用して夢を叶えた学生も多くおられます。また数多くのプログラムの中でロータリアンの御息も利用可能なプログラムですので、お子様・お孫様を送り出すことも可能です。

交換委員会では、派遣学生のサポートやホストクラブのサポートに始まり、交換地区・クラブとの打ち合わせ、研修の実施、受入学生のサポート、地区や交流事業、研究会への引率など学生とホストクラブのサポートが主な業務となります。震災や新型コロナウイルス感染症拡大などの大きな障害があり、学生の危機管理に対する大きな仕事が増えてまいりました。特に東日本大震災発生時は、日本に來ている学生の安否が東北を中心に確認が滞り、本国のご家族に大きな不安を与えました。その教訓を生かし現在は学生の現在の状況がひとめで、しかもどこからでも確認可能なYESS (Youth Exchange Support System) の運用が始まりました。また各地区に危機管理マニュアルの策定が義務付けられて、有事の学生の安全の確保を第一に運営しております。

次期プログラム再開に向けて、引き続きスポンサークラブの募集や、各クラブに事業のご理解、ご協力いただけますようにPRを続けてまいりたいと思います。クラブの卓話やZOOMによるスピーチなどお話しさせていただきたいと思いますので、ご検討、お問い合わせをお待ちしております。引き続き青少年交換活動にご理解、ご協力をお願い申し上げます。以上



※写真は、休止前の物です。来期はこのように学生を受け入れることを願っています。

「第36回ふれあい広場2022なよろ」での ポリオ根絶啓蒙活動

名寄ロータリークラブ幹事 白 木 剛

名寄ロータリークラブ（大野真一郎会長）は2月19日(日)名寄市市民文化センター・エンレイホールロビーにて「第36回ふれあい広場2022なよろ」に参加し、ポリオ根絶啓蒙活動を行いました。

この「ふれあい広場」は社会福祉協議会が主催・名寄市が共催によるもので、毎年7月の第一日曜日に屋外で開催されていましたが、コロナ禍に於いて延期されるなか今年度はようやく2月に屋内での開催に漕ぎつけることができました。

この「ふれあい広場」の基本方針として「ノーマライゼーションの普及啓発を目的とする」とあり、ふれあい広場の従来目的である、障がいや年齢等に関わらず共に支えあうノーマライゼーションの普及啓発を図ることによって共に支えあうことのできる地域づくりにつなげる。とされています。

毎年名寄ロータリークラブも参加させていただき、今回も募金活動を行いました。コロナ禍とゆうこと、屋内であること、多くの制約があり通常ですと沢山の会員が参加して、啓蒙活動・募金活動をするのですが、人数制限の為、大野会長を筆頭に5名のメンバーで参加してまいりました。会場ではポリオスクリーンをバックにテーブルにポスターを貼り、パソコンモニターを持込、昨年10月の「ポリオ根絶啓蒙コンサート」での山岸研修リーダーと播本ロータリー情報委員長の対談の様や昨年度撮影された松前直前会長のビデオ等を常に流し会場の皆様に啓蒙活動をさせて頂きました。その他制約のなかには、「大きな声を出してはいけない。」とゆう点で積極的な募金活動は難しい状況でしたが、只地元名寄のFM局が中継をしいて名寄ロータリークラブもインタビューを受けましたのでリスナーにも「ポリオ根絶啓蒙活動」を伝えられたかと思えます。又、時間の制約もあり、午前10時から午後2時10分までと短い間ではありましたが、結果的に22,254円とゆう多くの篤志を頂くことができました。

大変良い活動ができたかと思えます。今年の7月には新年度の「ふれあい広場」行われる予定だそうです。その時にはまた名寄ロータリークラブは参加させて頂こうと考えています。

1988年以来、ロータリーとパートナー
団体の取り組みにより、ポリオの症例は
99.9パーセント減少しました。

世界ポリオデー
10月24日
#EndPolio | endpolio.org/ja

Rotary





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

vol.

276

2023年3月13日
発行

1. マレーシア米山学友会 総会開催

マレーシア米山学友会の総会が3月5日、首都クアラルンプールに隣接するセランゴール州で対面開催され、20人のマレーシア学友が参加しました。今総会の様子はオンラインでも配信され、18人が画面越しに参加しました。

総会では、活動報告、会計報告に続き、次年度の新たな会長の選出が行われ、現副会長の黄建榮さん（1998-2000／室蘭東RC）が次年度の会長に決まりました。創立時から6年にわたって会長を務めてきた黄麗容さん（2001-04／横浜泉RC）は、名誉会長として引き続き同学友会のサポートを続ける体制となります。

黄麗容会長は退任にあたり、「米山記念奨学会をはじめ、ロータリアンの皆さま、各国の学友たちの力強いご支援をいただいたおかげで、マレーシア米山学友会が大きく発展することがで



お揃いのシャツを着て総会を開催

き、心から感謝しています。私たちが築き上げてきた絆と、社会・環境奉仕活動の力は、新会長のリーダーシップの下で、さらに発展していくと確信しています」と、今後の学友会の発展に期待を寄せました。

2. 寄付金速報 — 2月も好調を維持 —

前年同期比

+ 6.7%

普 - 2.6% 特 + 12.0%

2月までの寄付金は、前年同期と比べて6.7%増（普通寄付金：2.6%減、特別寄付金：12.0%増）、約7,200万円の増加となりました。また、2019年度以降初

めて、2月単月の寄付合計金額が7,000万円を超えることができました。皆さまからのご支援に、改めて感謝申し上げます。コロナの規制も緩和されつつあり、今後はさまざまな形式での交流が可能となることが予測されます。引き続きご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

登録受付開始

世界米山学友による「再会 in 関東」登録受付開始

8月5日、6日に開催される「再会 in 関東」の登録がスタートしています。米山学友の活躍を実感し、ロータリーファミリーの輪を広げることのできるまたとないチャンスです。ロータリアンの皆さまも、ぜひお申し込みください。

- 本会議会場：つくば国際会議場（茨城県つくば市）
- 参加費：ロータリアン（ロータリアン学友含む）とその家族 15,000円
米山学友・奨学生、その他（学友のご家族、友人など） 7,000円
- 登録に関する問い合わせ：saikaikanto@gmail.com
- プログラムに関する問い合わせ：yoneyamaworld@gmail.com

専用ページ --> <https://yoneyama.my.canva.site/saikai-in-kanto>

再会 in 関東 専用ページ



3. 第4回 ミンガラ奉仕デー 日本語 CAFÉ 開催

東京米山ロータリーEクラブ 2750 の活動のひとつに「田中作次奨学金」があります。これは、元国際ロータリー会長である田中作次氏の冠名奨学金で、ミャンマーの若者へ教育支援をするものです。ミャンマー米山学友会と連携し、米山奨学金制度を模範として、学友たちが自ら現地奨学生の選考を行っています。

2月19日、今年の田中作次奨学生たちとミャンマー米山学友会有志、ロータリアンや現役米



山奨学生がオンライン交流する「第4回 ミンガラ奉仕デー 田中作次奨学生 日本語 CAFÉ」が ZOOM で開催され、44人が参加しました。ヤンゴン在住で、企画担当のケイ ズイン ウインさん（2011-13/東京たまがわRC）が日本語とビルマ語で進行役を務めました。日本留学において気を付けること、日本語の学習方法といったものから、少子高齢化問題など、各グループが日本に関連する幅広いテーマで交流しました。

参加した田中作次奨学生からは、「自ら話をするのは緊張したが、参加者の雰囲気づくりのおかげで聞きたかったことが聞けた」、「質問することに慣れる、という大切なことを教えてもらうことができた」といった感想が述べられました。また、同クラブで開発中の「非漢字圏の日本語学習者のための生活支援漢字アプリ」が、実用的な学習方法のひとつとして紹介されました。第5回は、5月13日に開催予定です。

4. 「ここからが始まり」 米山奨学生期間終了式

3月4日、国際ロータリー第2580地区の米山奨学生期間終了式が都内会場にて開催され、2022 学年度の奨学期間を終了した米山奨学生、継続奨学生およびカウンセラーら 108人が出席しました。また、同地区米山学友会の6人が終了式の運営をサポートし、後輩たちの新たな門出を見守りました。

同地区の猪飼米山委員長の挨拶の後、当会から出席した柚木事務局長が祝辞を述べました。奨学生一人一人が壇上で終了証を受け取り、米



晴れやかな表情で記念撮影

山奨学金と、お世話になったカウンセラーやロータリアンへの感謝を述べ、「ここからが始まりだと思って努力したい」、「学友会に入って、ロータリーとの繋がりを大切にする」、「自分の専門の研究で成果を出したい」といった、各々の思いや抱負を語りました。

最後に、同地区の嶋村文男ガバナーから「皆さんの努力する姿から、私たちロータリアンが学ぶことがたくさんあります。ぜひ今後もカウンセラーや世話クラブとの繋がりを大切にしてください」というメッセージが贈られました。



終了証を受け取った奨学生(中央)と世話クラブのロータリアン



世界米山学友による 再会 in 関東

SAIKAI in KANTO

日本国内及び海外の米山学友、米山奨学生、ロータリアンの皆様とともに、「お帰り、ただいま、久しぶり」と「再会」を笑顔で喜び合い、交流の楽しいひと時を過ごしたいと思えます。米山学友が輝く舞台と、参加者皆様が楽しめるよう、全員参加型のプログラムを関係者一同努めてまいります。

ご多忙のところ恐縮ではございますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催日程	2023年8月5日～6日(土・日)
開催地	つくば国際会議場 〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3 https://www.epochal.or.jp/
登録料	ロータリアン(ロータリアン学友含む)とそのご家族 15,000円 米山学友・奨学生 7,000円 その他(学友のご家族、友人など) 7,000円

大会プログラム

8月4日	前夜祭	18:00~21:00	自己紹介・歓談・交流
8月5日	ポスター発表	10:00~12:00	学友会活動紹介
			会社・個人のビジネス紹介
	学友会会長会議	12:00~14:00	米山の世界大会について
	式典	14:30~17:30	オープニングセレモニー
			関東10地区チャリティー奉仕リレー活動報告
百人合唱祭			
パネルディスカッション			
クロージングセレモニー			
晩餐会	18:30~21:30	世界米山学友による出し物	
8月6日	文化体験	10:00~16:00	開催地域文化体験

■登録に関するお問合せ：「再会 in 関東」実行委員会

saikaikanto@gmail.com

■登録お申込 URL

<https://forms.office.com/r/5T4CDxcgR4>

■本大会に関するお問合せ：「再会 in 関東」実行委員会

yoneyamaworld@gmail.com

QRコードからのお申込みはこちら



ロータリー財団 地区補助金 報告

帯広東ロータリークラブ 会長 古川 直也

(19) 2022年(令和4年)12月13日(火曜日)

(第3種郵便物認可)

十 豚



「帯広市まちなか案内図」を手にする古川会長（中央）と平野君（左）、江島さん

感謝状



帯広東ロータリークラブ人に寄贈した。
古川直也会長は帯広市
開拓140周年市制施行90
周年を記念し、帯広の歴史
地を記念し、旧若松湯、依
にまつわる「帯広まちな
か案内図」を作成し、市内
の小学3、4年生542
には、勉三と帯広出身の歌
人小中城ふみ子、幕別町出身
の中城ふみ子、幕別町出身
の作曲家方城自正の3人に
ついて、似顔絵を付けて略
歴を紹介している。
勉三の命日の12日に帯広
小学校で贈呈式が行われ
古川会長が「社会科の勉強
の質問があった。」
(櫻村真理子)

帯広の歴史学ぶ一助に 小3・4年に史跡地図

帯広東ロータリーク

に役立てて」と、児童代表
の江島妃菜さん、平野利来
君（いずれも4年生）に手
渡した。2人は「大切に使
わせてもらいます」とお礼
を述べた。
贈呈式に続き、古川会長
が4年生の教室で勉三につ
いて講話。児童からは「勉
三は福沢諭吉と会ったこと
がありますか」「なぜ勉三
は北海道を開拓しようと思
ったんですか」など、多く
の質問があった。



開拓140周年 市制施行90年記念
帯広市 まちなか案内図
OBIHIRO CITY MACHINAKA MAP
発行 帯広東ロータリークラブ

歌人
中城ふみ子

HUMIKO NAKAJO



帯広出身の歌人(和歌や短歌をよむ人)として有名な中城ふみ子(なかじょう ふみこ)は、大正11年生まれ。帯広高等女学校(今の帯広三條高校)のころから短歌をよみはじめ、卒業後は東京の家政学院に進学しました。

昭和17年に結婚、子宝に恵まれたものの、暮らしてはうまくいかず、夫婦は離れて暮らしていました。そんな毎日のなか、ふみ子は短歌を詠みつけ、少しずつ周りから認められるようになっていきました。

しかし、そんなふみ子に病気がおそいます。大きな手術のあと、一時は回復に向かい、その治療や普段の生活の中で、ふみ子は多くの歌を詠み上げていきます。

その中には、自分の病気や、恋愛を題材にしたものもあり、それらが多くの人から評価され、日本中に中城ふみ子の名前が有名になっていきました。

中城ふみ子は、歌集(和歌や短歌を集めて1冊にしたもの)を出版したあと、昭和29年8月、31歳の若さでこの世をさりましたが、亡くなったあともその人気は高く、たくさんの人に影響を与えました。また、ふみ子の短歌や生涯をもとにした映画も作られました。

帯広市内には、中城ふみ子を偲んだ石碑が2つ建てられています。



コーディネーター NEWS

2023年3月号 No. 1

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター

第1地域
ロータリーコーディネーター

橋岡 久太郎

(佐倉中央RC)

第1地域のロータリーコーディネーター(RC)を拝命いたしております、橋岡 久太郎 (RID2790:千葉県全域:佐倉中央RC) と申します。

地域リーダー (RC・RRFC・RPIC・E/MGA・EPNC) は、皆様方会員がロータリーの目標を支え、各区内と世界中の地域社会でインパクトをもたらすことができるよう、地区リーダーと協力して会員を支援します。また、ロータリー研究会、ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)、地域・ゾーンの研修セミナー、地区研修、その他の行事 (情報研修会・IM) 等に、ご依頼頂ければ講演や研修者、進行役等を務めます。

特にRCは、既存クラブの支援と強化、および新クラブと衛星クラブの設立を促進することで、ロータリーの戦略計画を推進します。また、地区リーダーと連携して、新クラブと衛星クラブの結成、ロータリープログラムへの参加の促進、会員増強 (入会・参加促進) を奨励します。特にDEIをクラブレベルでご理解いただき、浸透させていただくために特化したセミナー等を積極的に推進して参ります。

今回は私の担当させて頂いております第1地域をご紹介します。国内3地域の中でも担当地区数が14地区と最も多く、北海道の2地区から千葉県までと広い範囲になります。そのような地域を心強い3名の補佐 (ARC) の方々に其々の担当地区のお手伝いをお願いしております。

RID2500:北海道西部・RID2510:北海道東部・RID2530:福島は、福井 啓悟ARC

RID2830:青森・RID2540:秋田・RID2520:岩手宮城・RID2800:山形・RID2560:新潟は、今井 高志ARC

RID2840:群馬・RID2550:栃木・RID2570:埼玉西北・RID2770:埼玉南東・

RID2790:千葉・RID2820:茨城は、中里 公造ARC

ロータリーコーディネーター

第1地域	第2地域	第3地域
 橋岡久太郎 佐倉中央ロータリークラブ	 野口 英一 甲府ロータリークラブ	 滝澤 功治 神戸須磨ロータリークラブ
 福井 敬悟 札幌手稲ロータリークラブ	 辻 正敏 ロータリークラブ	 中川 基成 あすかロータリークラブ
 今井 高志 弘前ロータリークラブ	 若林 英博 東京麹町ロータリークラブ	 庄司 尚史 境港ロータリークラブ
 中里 公造 川口モーニングロータリークラブ	 桑澤 一郎 茅野ロータリークラブ	 安増 惇夫 宗像ロータリークラブ

ロータリーコーディネーター (RC)、ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)、ロータリー公共イメージコーディネーター (RPIC)、恒久基金/大口寄付アドバイザー (EMGA)、ポリオ根絶コーディネーター (EPNC) は、ロータリー会員の皆様方が必要とするリソースと支援を提供させていただきます。地域リーダーは、国際ロータリー会長エレクトまたはロータリー財団管理委員長エレクトによって任命されます。

私達コーディネーターとアドバイザーを知ってご活用頂き、皆様方のロータリー活動をよりダイナミックで充実したものにして頂ければ幸いです。

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年3月号 No. 2

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



「ロータリーと“感動”」

第1地域

ロータリー公共イメージコーディネーター補佐

田中 久夫

(高崎RC)

最近、「人が生きるために必要なものは？」という問いに出会いました。建築家の安藤忠雄氏からの問い掛けです。

ある人は一言、「それは“お金”である」と言っていました。その昔、小池百合子東京都知事は「それは“希望”である」と宣言して、新党“希望の党”を作り同士を集め国政選挙に打って出ました（結果はあまり芳しいものではありませんでしたが…）。

でも私は、「それは“感動”である」と信じています。

人は皆、何らかの職（しごと）を持ち、それを業（なりわい）として生計を立てています。それが「職業」です。職業ですから、日常の職業従事がマンネリ化してきてもそれを簡単に辞めるわけにはいきません。それを継続するためには、何か「日常」（原因から生み出される結果が容易に予測できるもの）を超える「感動」（原因と結果が容易に結びつかないもの）が必要になってくるはず。職業が楽しいと思えるためには、仕事が達成した暁には予想もつかない感動があることが必要なのです。

例えば、大変困難な仕事に直面しているとき、この苦労を何のためにするのか？という疑問を持つことがあります。でも、苦労はそれを乗り越えて成果を得たときに初めて達成感（感動）を覚えるものです。簡単な仕事ではつまりません。感動を求めて敢えて無理難題にチャレンジするということに職業従事の快感があるのではないのでしょうか。しかも、その快感はその苦労に参画する者が多いほど倍加するという論理は明白です。それは、私たちが昔読んでいた少年マンガの成功論理と同じです。少年マンガは、3つの要素が織り込まれれば必ずヒットすると言われています。1つは友情（仲間やライバルの存在）、1つは努力（目標に向けて必死に頑張ること）、1つは勝利（目標の達成）です。まるでロータリーです。

あるクラブを訪問したときのこと、そのクラブが次年度〇周年を迎えるという話題になりました。そのとき、そのクラブの幹部で「準備が大変だから、式典は簡素にしよう」と発言した人がいました。これはもったいない話です。せっかくロータリーによって感動を得ることが出来るのに、自らその機会を失うことになってしまうからです。

ロータリー活動は多くの感動を得ることが出来る、人生にとって貴重な快感体得活動です。ロータリーに入って良かったと思える瞬間をたくさん手にしましょう。先憂後楽、そのためには若干の苦労はあるかもですがそれでも…。

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年3月号 No. 3

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



「変わりながら変わらない価値を創造する」

第2地域

ロータリー財団地域コーディネーター補佐

伊藤 靖 祐

(江南RC)

叶えたい未来を共に実現していくことができるのがロータリーです。ロータリーのビジョン声明に「人びとが手を取り合って行動する世界をめざしています」とあるように共に行動し実現できるのがロータリアンです。ビジョン声明の英語原文が「Together,」から始まるのは“共に”ということが強調されている証であり、ロータリー財団では一つひとつのご寄付により共に世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができるということです。その結果、ポリオ根絶という歴史をつくるカウントダウンが始まりました。世界の歴史や記憶は新たな挑戦によってのみ更新され次の時代に引き継がれます。すなわち、ロータリーは118年を超えて変わりながら変わらない価値を創造してきたのです。

これからもこの変わらない価値をロータリーは変わりながら高めていく必要があります。佐藤RI理事が推進した世界ポリオデーによる公共イメージ向上、ポリオ根絶へのご寄付とファンドレイジングを今後も第二地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐としてロータリーの価値の向上にも目を向け進めて行きます。

ロータリーには力があり価値があります。ポリオのない世界という次世代のこどもたちへのギフトを見据えてロータリーのFuture Valueを最大化することはロータリー財団地域コーディネーター補佐の大きな役割と認識しています。ロータリーの使命・ロータリー財団の使命を実現するためにロータリーのFuture Valueのつくり方について楽しみながら向き合い、第1・2・3地域で協力の上、さらには恒久基金/大口寄付アドバイザー、ポリオ根絶コーディネーターとともにロータリー財団活動の活性化を図る一助になればと考えています。また、地域社会こそがロータリーのステークホルダーですので、第二地域では9地区の地区財団委員長ともミーティングを実施の上、まだまだ伸びしろがあるポールハリス・ソサエティや遺贈について推進していきます。

よろしくお願ひ申し上げます。

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年4月号 No. 1

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



会員増強について考えます

第2地域

ロータリーコーディネーター補佐

若林 英博

(東京麹町RC)

「オープン例会」

沢山の手法の中で何がベストかと申し上げますと、オープン例会でしょう。

オープン例会とはクラブの通常例会にゲストをお招きして、実際の活動を見聞していただく、そして入会に繋がるようにお誘いをする例会です。前年度に当地区で試したところ、特に効果的であるのは地区内クラブが同じ週に一齐に開催する方法だとわかりました。交通安全週間や読書週間のようにみんなが頑張る。隣のクラブも頑張っている、我々も負けてられない。結果的にこういった競争心も手伝って、1クラブ平均2.5人の入会がありました。クラブ紹介カードの活用や『ロータリーの友』の配布など様々な手法がありますが、結果として成果が出たのはオープン例会です。しかしながら、オープン例会にゲストをお呼びするのが最大の課題です。

「人の魅力」と「組織の魅力」

私が2021-22年度ガバナーとして公式訪問で行った卓話では、会員増強は二つの側面から考えて欲しいと申し上げて参りました。一つは「人の魅力」、二つ目は「組織の魅力」です。

一番の要素は人の魅力だと思います。ロータリーの4つのテストは正しく人の魅力の核となるもので行動の規範です。信用信頼が得られている方には自ずと人は集まってきます。私は40歳でJCを卒業する時に、先輩からロータリーへ誘われました。私の父も兄もロータリアンで、小さいころからクリスマス例会などに連れて行ってもらったと、プレゼントをいただき嬉しく楽しかったのを覚えています。入会を勧められ咄嗟に考えたのは、もし私がそのクラブに入会すれば、人生の結構な時間をその方と共有することになるということでした。はっきり申し上げまして、その先輩の人となり若干知っていましたので即座にご遠慮申し上げました。その方と長い時間を共に過ごすのは気が進みませんでした。思い返しますと、これこそが人の魅力でしょう。私はこのことを自分自身に置き換えて、精進しなければなりません、ロータリアンは自分中心でなく、利他の精神を持つ、その結果会員増強に繋がるのだと思います。

「組織の魅力」は、ロータリーの公共イメージで判断されます。盛んに公共イメージを上げましょうとどのクラブも頑張っています。ポリオ根絶、災害支援、地域での奉仕活動、こういった活動はロータリーのイメージアップに繋がります。引き続き行っていく必要があります。但し気を付けなければならないのは行動さえすれば、会員が増えるという考えです。この考えに私は首をかしげます。DEIを理解し、組織の良い公共イメージを基盤として、さらに大事なものは、自分自身の魅力であって、感動を持って人生を楽しみ、4つのテストを実践し、職業奉仕の考えを活かした会社経営、社会への奉仕活動をしているかどうかです。

皆様におかれましては、更に魅力ある人として、会員増強に励んでいただきますようお願いいたします。そしてその手法は「オープン例会」です。

資料はこちら→

「人の魅力」と「組織の魅力」で
自然と人が集まってくる

挑戦してみませんか?
オープン例会

若林英博 (東京麹町ロータリークラブ)
国際ロータリー第2580地区2021-22年度ガバナー
2022-23年度第2地域ロータリーコーディネーター補佐



Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年4月号 No. 2

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



第2地域

ロータリー公共イメージコーディネーター補佐

桑 澤 一 郎

(茅野RC)

昨年のポリオデーのポータルサイトを作成管理させていただき、微力ながら皆さまのお役に立てたことを大変光栄に思っております。

次年度のポリオデーに向けた方針策定も佐藤理事やRPICの皆さまにより指針がほぼ決まりつつあり、それを基にポータルサイトも次年度仕様に少しずつ変更されております。再度ポータルサイトを訪れていただき、新たに追加されました「22年ポリオデーの実績報告」のページなどをご覧いただき次年度の活動の参考にさせていただきたいと思っております。

世界ポリオデーJAPANポータルサイト：<http://endpoliorotary.club>

さて話は変わりますが、今話題の「ChatGPT」についてご紹介いたします。AIが様々な疑問に的確に返答してくれるサービスです。回答は当たり障りのないものが多いですが、端的にまとめてくれるので、決まり切った文章を書く際には非常に重宝します。

以下は私が試した質問と回答です。

質問：ロータリークラブの公共イメージ向上方法についてのアイデアを教えてください

ChatGPTによる回答：

コミュニティ活動の積極的な実施：ロータリークラブは、地域社会で様々な活動を行っています。クラブメンバーが地域の問題に取り組む姿勢をアピールすることで、クラブが社会貢献活動に力を入れていることをアピールできます。

1. クラブのPR活動：クラブが行っている活動を広く知ってもらうために、ロータリークラブのホームページやSNS、地域紙などを活用して、クラブのPRを行うことが重要です。さらに、クラブのメンバーが積極的に自分たちのクラブについて話題にしていくことで、ロータリークラブの知名度を上げることができます。
2. プロジェクトの多様化：ロータリークラブは、慈善活動や社会貢献活動を行うことが多いですが、プロジェクトの内容を多様化することで、多様な人々が参加しやすくなります。例えば、環境保全活動や文化交流プログラムなど、多様なテーマのプロジェクトを行うことで、より幅広い層の参加を促すことができます。
3. 若い世代の参加促進：（文字数の関係で省略）
4. 国際交流の拡大：（文字数の関係で省略）

以上のようなアイデアを実践することで、ロータリークラブのイメージ向上が図られます。

どうでしょう？当たり前と言えれば当たりのことを回答してきましたが、基本的なことをしっかり押さえた回答ですから、役に立つ場面もありそうです。「女性会員を増やすにはどんなことをすればよい？」「若者に興味を持ってもらうには何をアピールすべき？」などの質問にも答えてくれます。偏りがちな自身の価値観を見直すきっかけにもなるかも知れません。一度お試しください。以下のURLからsign up（登録）すれば無料で利用できます。<https://chat.openai.com/auth/login>

国際ロータリー第2500地区

新入会員の紹介

第7分区 釧路ロータリークラブ



きむら たくや
木村 拓也

- 不動産賃貸業
- 1981年4月26日生
- 2月16日入会

皆様、ご指導、ご鞭撻の程 宜しく願い申し上げます。

ロータリー財団寄付者報告

第1分区 稚内南ロータリークラブ

はんざき じんいち
飯崎 仁一

寄付月日 2023年2月7日
寄付種類 PHF

第2分区 名寄ロータリークラブ

名寄RC

寄付月日 2023年2月28日
寄付種類 ポリオ・プラス

第2分区 名寄ロータリークラブ

いなば ひでのり
稲葉 英紀

寄付月日 2023年3月10日
寄付種類 PHF+2

第6分区 帯広ロータリークラブ

たけかわ ひろゆき
竹川 博之

寄付月日 2022年12月22日
寄付種類 MPHf+4

第6分区 帯広ロータリークラブ

たけかわ ひろゆき
竹川 博之

寄付月日 2022年12月22日
寄付種類 MPHf+6

第6分区 帯広ロータリークラブ

いけだ ゆういち
池田 雄一

寄付月日 2022年12月22日
寄付種類 MPHf+3

第6分区 帯広ロータリークラブ

ながさわ ひでゆき
長澤 秀行

寄付月日 2023年2月27日
寄付種類 MPHf+1

第6分区 帯広ロータリークラブ

むらまつ かずき
村松 一樹

寄付月日 2023年2月27日
寄付種類 MPHf+1

第6分区 帯広東ロータリークラブ

よしむら まなぶ
吉村 学

寄付月日 2022年12月20日
寄付種類 MPHf+3

第6分区 帯広東ロータリークラブ

こがわ なおや
古川 直也

寄付月日 2022年12月20日
寄付種類 MPHf+1

第6分区 帯広東ロータリークラブ

にしふじ とおる
西藤 亨

寄付月日 2022年12月20日
寄付種類 MPHf+7

第6分区 帯広北ロータリークラブ

しばた たかし
柴田 隆視

寄付月日 2022年12月23日
寄付種類 MPHf+4

第6分区 帯広北ロータリークラブ

まつばら こういち
松原 光一

寄付月日 2022年12月23日
寄付種類 MPHf+2

第6分区 帯広北ロータリークラブ

くどう かずのり
工藤 一則

寄付月日 2022年12月23日
寄付種類 MPHf+2

例会出席率及び会員数推移

2023年2月末報告

分 区	クラブ名	例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数			
				前月	当月	増減	女性 会員
1	礼 文	3	68.0	14	14	0	0
	利 尻	3	90.0	19	19	0	0
	利 尻 島	1	86.6	15	15	0	1
	天 塩	1	41.7	12	12	0	2
	豊 富	4	100.0	19	19	0	1
	稚 内	3	53.0	44	44	0	2
	稚 内 南	3	74.6	37	36	-1	1
	計		73.4	160	159	-1	7
2	美 深	3	89.2	23	24	1	1
	枝 幸	1	63.0	25	25	0	0
	名 寄	4	64.5	55	55	0	2
	中 頓 別	4	57.7	13	13	0	0
	士 別	4	84.9	43	43	0	1
	計		71.9	159	160	1	4
3	旭 川	4	71.3	61	61	0	1
	旭 川 東	4	-	29	29	0	0
	旭 川 北	3	84.9	43	43	0	0
	旭 川 南	3	-	28	28	0	0
	旭 川 西	3	79.7	53	53	0	5
	旭 川 東 北	2	-	16	16	0	1
	旭川モーニング	3	-	21	21	0	2
	旭 川 空 港	4	91.2	17	17	0	3
	美 瑛	4	61.7	30	30	0	0
	富 良 野	2	68.4	49	49	0	4
	上 川	3	80.0	10	10	0	0
	2500REクラブ	2	81.7	20	20	0	3
	計		77.4	377	377	0	19
4	遠 軽	3	80.3	41	41	0	2
	紋 別	4	60.7	30	30	0	0
	紋 別 港	4	79.1	27	27	0	0
	中 湧 別	2	100.0	10	9	-1	0
	興 部	4	73.3	15	15	0	0
	雄 武	4	76.5	12	12	0	0
	滝 上	3	83.3	14	14	0	1
	計		79.0	149	148	-1	3

分 区	クラブ名	例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数			
				前月	当月	増減	女性 会員
5	網 走	3	72.4	52	52	0	8
	網 走 西	2	62.0	49	48	-1	0
	美 幌	3	85.6	54	53	-1	6
	北 見	4	76.5	57	56	-1	5
	北 見 東	2	75.0	43	43	0	2
	北 見 西	3	78.3	61	61	0	0
	清 里	2	76.6	30	30	0	0
	留 辺 薬	3	68.1	23	23	0	1
	斜 里	3	87.9	33	33	0	4
	計		75.8	402	399	-3	26
6	足 寄	3	55.1	29	29	0	1
	広 尾	2	55.3	19	19	0	0
	上 士 幌	3	78.0	13	13	0	0
	芽 室	2	72.7	22	22	0	1
	帯 広	4	58.1	89	89	0	6
	帯 広 東	4	75.0	40	39	-1	2
	帯 広 北	4	52.7	65	65	0	3
	帯 広 南	4	69.4	66	67	1	7
	帯 広 西	4	64.2	85	86	1	5
	音 更	4	70.8	42	42	0	5
	清 水	3	-	18	18	0	2
	計		65.1	488	489	1	32
7	釧 路	3	53.0	103	103	0	0
	釧 路 東	4	67.0	33	33	0	0
	釧 路 北	4	72.0	109	109	0	13
	釧 路 南	4	68.0	27	27	0	4
	釧 路 西	3	71.0	27	27	0	1
	釧 路 ベ イ	4	73.5	19	19	0	3
	音 別	4	65.0	15	15	0	0
	白 糠	4	67.5	10	10	0	0
	計		67.1	343	343	0	21
8	厚 岸	2	71.4	14	14	0	0
	別 海	3	60.6	11	11	0	0
	浜 中	4	77.6	12	12	0	1
	中 標 津	2	68.4	27	27	0	1
	根 室	3	62.0	36	36	0	0
	根 室 西	2	66.7	50	50	0	1
	弟 子 屈	2	70.3	19	19	0	2
	計		68.1	169	169	0	5
	総 計		72.2	2,247	2,244	-3	117

第2500地区 全66クラブ	前月末会員数	当月末会員数	増 減	平均出席率
	2,247	2,244	-3	72.2%
女性会員数	118	117	-1	



2022~2023年度
国際ロータリー第2500地区
Rotary International District 2500

ガバナー事務局

〒070-0043
旭川市常盤通1丁目 道北経済センタービル6F
TEL: 050-5444-5129 FAX: 050-5444-5130
E-mail: info@rid2500.com

Governor Office

〒070-0043
1Chome Tokiwadori Asahikawa Japan
Dohoku Keizai Center Building 6F
PHONE: +81-50-5444-5129 FAX: +81-50-5444-5130
E-mail: info@rid2500.com

<http://rid2500.jp/2022-2023/>

